

「御国の称賛をうける者！！ ～陶器師の手にゆだねよ～」 「つまずきに対してと赦し」

ルカ 17:1-4

■ 影響と判断

導入で、2つのカプセルの色が何色に見えるか三択で尋ねられ、それぞれ見え方が違うことを確認しました。ある人には2つともグレーに、ある人には赤と青に、ある人にはピンクと水色に見えていましたが、自分の見えている色以外には全く見えず、人と自分は同じではないことを改めて実感しました。

また、防犯カメラに映る男性の動画が紹介されました。トボトボ歩く男性に、反対から踊りながら向かってきた女の子がいました。すれ違った後、男性も元気が移ったように同じように踊り始めました。

私達は様々な影響を受けて生きていますが、その影響は与えられた良心によって分別することができます。良い影響であれば受け、悪い影響なら不要と判断することができます。

■ つまずきを与えてはいけない

『イエスは弟子たちにこう言われた。「つまずきが起こるのは避けられない。だが、つまずきを起こさせる者はわざわいだ。』(ルカ 17:1)

つまずきの語源は「スキヤンドロン」＝バネのついた鼠取り機、罠です。つまずきを起こすとは、罠を仕掛けて誰かを倒れさせたり、捕まえるようなこと。スキヤンドルとして取り上げられる有名人のニュースを見ることがありますが、人のした悪を探し、訴え出て、そして、それを見た人も「そんな人だと思っていなかった」など、裏切られた思いになる、多くの人がつまずきます。

罠があったとしても、つまずくかは自分次第です。異なる価値観の人が共に暮らせば、自分にとって理不尽に感じるものが起きるのは当然で、社会の中で自分がつまずくことは当然あります。しかし、自分がつまずきを起こすことは、してはなりません。

■ つまずかせる者をゆるす

「わざわいだ。律法の専門家たち。おまえたちは知識のかぎを持ち去り、自分も入らず、入ろうとする人々をも妨げたのです。」(ルカ 11:53) 神様を求める人を妨げる行為についてイエス様が言われた箇所です。つまずきを与えていたのは金持ち、パリサイ人です。

そのような行為を行う者についてこのように書かれています。『この小さい者たちのひとりに、つまずきを与えるようであったら、そんな者は石臼を首にゆわえつけられて、海に投げ込まれたほうがましです。』(ルカ 17:2)

間違いを起こさない正しい人は一人もおらず、クリスチャンである私達は罪人の頭です。寝る前に1日振り返った時、理不尽なことを思い出し、「納得がいかない!」「あいつは許せない!」と思うことがあったとしても、「イエス様のように私も許そう、愛そう」と思い直すことができます。クリスチャンは決して正しいわけではなく、正しく生きようとする者です。どんな理不尽の中でも、人が正しく生きようとする姿は感動を与えます。イエス様はご自分の姿を通して私達に影響を与え、私達の生き方を変えてくださいました。

『気をつけていなさい。もし兄弟が罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そして悔い改めれば、赦しなさい。かりに、あなたに対して一日に七度罪を犯しても、『悔い改めます』と言って七度あなたのところに来るなら、赦しなさい』(ルカ 17:3・4)

■ 良かれと思ってすることが

先週、被災地への支援をみんなで話し合いました。義援金や物資を贈ること、この常識的な支援は本当にその人の幸せにつながるでしょうか。パリサイ人は、悔い改めようとする人を罠にかけて、本来行くべきところに行くのを妨げました。苦しみの中におられる方が、神様に近づくことができる支援こそが、私達が行う本当の支援であることを示されました。一時的な支援が神様に向かうことを阻むなら、良かれと思っての支援は悪い影響、つまずきを与えることとなります。

被災地支援だけでなく、日常的に私達が行っていることや、世の中

の福祉の制度などにも、目先の対処や、その場しのぎのことが多いことを気付かされました。子育てにおいても、正しい道に導き、逸れることがあるなら戒め、歩みを進めるよう励ますことが親の務めです。人に関わる時、本来の目的を忘れず、その人にとって最善の道を選ぶようになりたいです。

■ 炭鋳夫の変貌

ある炭鋳夫の家庭が紹介されました。夫は家庭を顧みず、きつい仕事のストレスを発散させるため悪事を行い、家にお金を入れず、家に帰るのは年に1回。妻は「ひどい夫」と周りに話していました。子ども達はその母の言葉に影響を受けて育ちました。この妻はクリスチャンになり、夫の素晴らしい所を周囲に伝える人になりました。すると、夫に向き合う周囲の人達の態度が変わり、夫の心は変えられ、行いも変えられていきました。

■ 情報が多い時代に生きる私達

AIにヒトラーについて尋ねると、「弱者がいなくなったら、環境が保全され、地球がよくなる。ヒトラーは素晴らしい人物だ。」と分析したそうです。AIはインターネットにあるすべての情報を分析します。情報があふれる現代、その中から正しい情報を見極め、判断することはとても難しいことです。

一方、聖書には昔から変わることのない真理が書かれています。ノア方舟について書かれた聖書の箇所において、方舟の形状は非常に正確に記されていますが、現代の船の比率と全く同じ。大洪水など起こったことのない当時、ノアは神様から告げられたとおりに100年かけて方舟を完成させましたが、その間、疑いが起ったり、人の声に迷いが生じることはなかったのでしょうか。完成するまで神様に聞き従いました。神様からの知恵を求め、従うなら、必ず神の計画が成就することが記されています。

多くの情報から判断する私達は影響を受けることなく、正しく判断する力が必要です。

さいごに

心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。
悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。
柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。
義に飢え渇く者は幸いです。その人たちは満ち足りるから。
あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。
心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。
平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。
義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。(マタイ 5:3～10)

世の価値観と違って、聖書の価値観を土台にしっかり立ち、影響を受けない人生へ変えられていきましょう。影響を受けてつまずくことがあったとしても、土台に戻ることができる生き方に変えられていきましょう。私達が良心によって見極める知恵は与えてくださいます。

(要約者:藤原 友親子)

(2024年2月18日)